

2011年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」の概要

1 年次調査

- 調査対象者 学部 2011 年度生全員。
- 調査方法 2011 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。
- 回収状況 有効回収数は 5001 票であり、3 月 31 日時点での在籍者数に対する回収率は 78.1%であった。

学部別回収状況（1 年次調査）

	有効票数	在学者数	回収率 (%)
神学部	73	80	91.3
文学部	540	746	72.4
社会学部	426	473	90.1
法学部	672	891	75.4
経済学部	661	858	77.0
商学部	721	943	76.5
政策学部	319	446	71.5
文化情報学部	240	295	81.4
理工学部	691	922	74.9
生命医科学部	204	279	73.1
スポーツ健康科学部	144	165	87.3
心理学部	141	166	84.9
グローバル・コミュニケーション学部	115	138	83.3
所属不明	54	-	
合計	5001	6402	78.1

2011 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2011 年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学教育開発センターでは、より良い1年次教育プログラムの開発を目的として、みなさんが1年間学ばれた時点で本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知るための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で28問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 神学部神学科 | 12. 法学部法律学科 | 23. 理工学部エネルギー機械工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 13. 法学部政治学科 | 24. 理工学部機能分子・生命化学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 14. 経済学部経済学科 | 25. 理工学部化学システム創成工学科 |
| 4. 文学部美学芸術学科 | 15. 商学部商学科 | 26. 理工学部環境システム学科 |
| 5. 文学部文化史学科 | 16. 政策学部政策学科 | 27. 理工学部数理システム学科 |
| 6. 文学部国文学科 | 17. 文化情報学部文化情報学科 | 28. 生命医科学部医工学科 |
| 7. 社会学部社会学科 | 18. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 29. 生命医科学部医情報学科 |
| 8. 社会学部社会福祉学科 | 19. 理工学部情報システムデザイン学科 | 30. 生命医科学部医生命システム学科 |
| 9. 社会学部メディア学科 | 20. 理工学部電気工学科 | 31. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 |
| 10. 社会学部産業関係学科 | 21. 理工学部電子工学科 | 32. 心理学部心理学科 |
| 11. 社会学部教育文化学科 | 22. 理工学部機械システム工学科 | 33. グローバル・コミュニケーション学部英語コース |
| | | 34. グローバル・コミュニケーション学部中国語コース |
| | | 35. グローバル・コミュニケーション学部日本語コース |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの2011年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 1.00 ポイント未満 2. 1.00～1.49 ポイント 3. 1.50～1.99 ポイント
4. 2.00～2.49 ポイント 5. 2.50～2.99 ポイント 6. 3.00 ポイント以上
5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。
1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない
6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 一般入試 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校)
2. 指定校推薦入試 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校)
3. 推薦選抜入試(公募制) 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
4. AO入試 (法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む)
5. 大学入試センター試験を利用する入試 11. スポーツ推薦選抜入試
6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) 12. 社会人特別選抜入試
7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) 13. 外国人留学生入試
7. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 現在、在籍している学部(学科) 2. 本学の他学部(他学科) 3. 私立他大学 4. 国公立大学
5. 短期大学 6. 専門学校 7. その他(具体的に)
8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)
9. あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	まったく重要ではない	あまり重要ではない	いづらか重要である	非常に重要である
1) 就職に有利だから	1	2	3	4
2) 周りの人たちが進学するから	1	2	3	4
3) 親の希望だから	1	2	3	4
4) すぐに働きたくなかったから	1	2	3	4
5) 大学で学ぶ内容に興味があったから	1	2	3	4
6) 幅広い教養を身につけたかったから	1	2	3	4
7) 専門的知識を身につけたかったから	1	2	3	4
8) 学生生活を楽しんでみたかったから	1	2	3	4
9) 資格を取るために必要だったから	1	2	3	4
10) 大卒の学歴を得たいから	1	2	3	4

10. あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような点を重視しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
1. 建学の精神や理念に惹かれた 7. 研究面に優れた教員がいる 13. 高校から推薦入学制度がある
2. イメージが良い 8. 就職に有利である 14. 自宅から通学できる
3. 自分の好きな分野を学べる 9. 親や知人の出身校である 15. 京都の文化に触れたい
4. 先端の学問を学べる 10. 親や知人に勧められた 16. その他
5. 将来性の高い分野を学べる 11. 資格が取れる (具体的に)
6. 教育面に優れた教員がいる 12. 自分の偏差値にふさわしい 17. とくに考えていなかった

11. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				1年間学んで			
	身につけていなかった	身についていなかった	やや身についていた	身につけていた	身につけなかった	身についてなかった	やや身についた	身についた
1) 授業の重要なポイントをノートにまとめる力	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 図書館の利用方法や文献を調べる力	1	2	3	4	1	2	3	4
3) パソコン等を使って文書や資料を作成する力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
16) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4

12. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 先端領域科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 複合領域科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

13. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

14. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

15. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

16. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方にふれること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

17. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	(履修・利用し ていない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
7) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

18. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう 思わない	あまり そう 思わ ない	やや そう 思 う	そう 思 う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

19. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	やや あてはまる	あまりあては まらない	あてはまらな い
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4

20. あなたは、次のような項目について、大学にもっと教えてほしいと思いますか、そうは思いませんか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し い	教 え て ほ し い
1) 大学の建学の精神や理念	1	2	3	4
2) 大学の歴史・伝統	1	2	3	4
3) カリキュラム編成や卒業単位の習得方法	1	2	3	4
4) 履修登録の具体的な方法	1	2	3	4
5) 大学内の施設・設備の利用方法	1	2	3	4
6) 大学で利用できる制度やサービス(留学、就職相談など)	1	2	3	4

21. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(授業の予習・復習、課題作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

22. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。アルバイトをまったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

23. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

24. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
3) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
4) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
5) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
6) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
7) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
8) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
9) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4	
10) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	

25. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--------|--------------------|-----------|-------------------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 満足している | どちらかといえば
満足している | どちらともいえない | どちらかといえば
不満である | 不満である |

26. あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 非常に
愛着がある | かなり
愛着がある | ある程度
愛着がある | あまり
愛着がない | まったく
愛着がない |

27. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する | 5. 他大学に(編)入学する | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない | 8. その他(具体的に |) |

28. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	あまり重要でない	やや重要である	重要である
1) 大学で学んだことが生かせること	1	2	3	4
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4

学生 ID の記入について

教育開発センターでは、みなさんが3年次を終えられる時点で同様の調査を実施し、大学1年生の時に感じられたことが、どのように変化したかを探ることを計画しています。今回の回答と3年次終了時点での回答を照合させることで、1年次と3年次の変化を捉え、今後の教育改善の取り組みに役立てていきたいと考えております。

このような目的のため、学生IDの記入をお願いしています。もちろん、この調査は回答者個人を特定して分析するものではなく、学生全体としての傾向を把握するためのものです。したがって、調査の結果から個人情報漏洩することは絶対にありません。

以上のような趣旨をご理解いただいたうえで、学生IDの利用に同意いただける方は下記の「1. 同意する」に○をつけ、あなたの学生IDの記入をお願いいたします。

1. 同意する

↓

2. 同意しない

↓

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

無記名のまま提出してください。

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

Q9：あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。

はじめに、本学の学生がどのような理由で大学に進学してきたのかを確認していこう。本調査では、図1に示したような10項目を設定し、各項目について「まったく重要ではない」から「非常に重要である」までの4段階の選択肢で質問している。

図1では、「いくらか重要である」と「非常に重要である」の合計(%)が多い順に項目を並べてある。大学進学理由として、最も重視されているのは、「学生生活を楽しみたい」であり、以下、「大卒の学歴を得たい」、「幅広い教養を身につけたい」といった理由が続いている。「就職に有利」、「大学で学ぶ内容に興味があった」、「専門的知識を身につけたい」などの理由も、多くの学生が重視している。これらの項目に対して、「周りの人たちが進学するから」、「親の希望だから」、「資格を取るために必要だった」、「すぐに働きたくない」といった理由の重要性は低い。

なお、昨年度(2010年度)の調査結果と比較して、肯定的回答(「いくらか重要である」+「非常に重要である」)の割合に1ポイント以上の増減が認められたのは、「大学で学ぶ内容に興味があった」、「周りの人たちが進学するから」、「親の希望だから」の3項目のみであった(増減幅は、順に+1.9ポイント、+2.0ポイント、+1.8ポイント)。

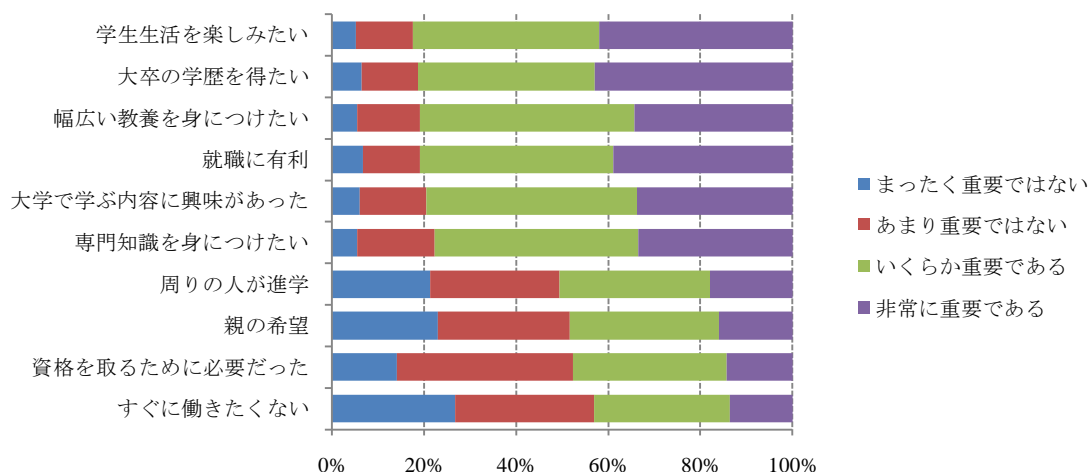


図1：大学進学理由 (Q9)

Q10：あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような点を重視しましたか。

Q10では、志望校として本学を選択する際に、重視した理由を列举し、該当する項目を複数選んでもらっている。図2は、回答した割合が多い順に項目を集計した結果である。

本学を選択した理由として最も多いのは、55.7%の学生が選択した「イメージが良い」である。第2位以降は、「就職に有利である(38.3%)」、「自分の好きな分野を学べる(31.4%)」、「自宅から通学できる(22.7%)」、「京都の文化に触れたい(22.3%)」といった項目が続く。一方で、「研究面に優れた教員がいる」ことや「教育面に優れた教員がいる」ことを重視して本学を志望した学生は5%ほどにとどまる(回答の割合は、順に5.8%、4.7%)。

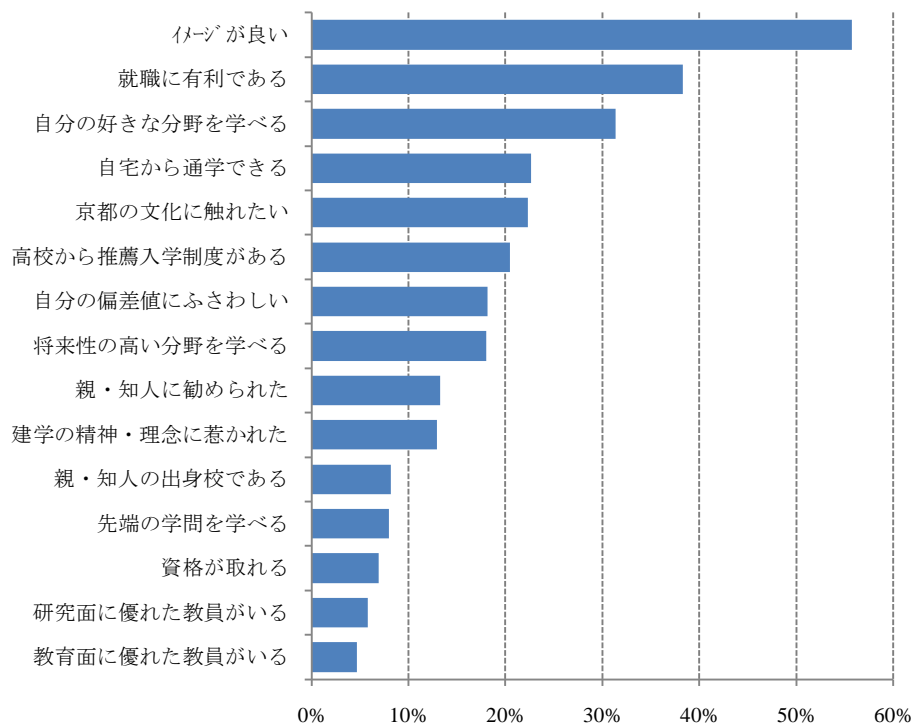


図2：本学選択理由（Q10）

Q11：あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。
また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。

Q11では、21個の知識・技能項目を提示し、大学入学から1年を経て、そうした知識・技能がどの程度、習得できたと学生が認識しているのかを質問している（回答の選択肢は、「身につかなかった」、「あまり身につかなかった」、「やや身についた」、「身についた」の4段階である）。

図3では、「やや身についた」と「身についた」の合計（%）が多い順に項目を並べている。これによると、「パソコン等を使って文書や資料を作成する力」ならびに「定められた形式に従ってレポートを書く力」に関しては、8割を超える学生が獲得できたと認識しているようである。

さらに、「文献や資料を読んで要点を理解する力」、「図書館の利用方法や文献を調べる力」、「課題を解決する力」などの項目も上位に位置している。

これらの項目に対して、「科学的・数量的にものごとを見る力」、「英語の能力」、「地域社会が直面する問題に対する理解」、「リーダーシップの能力」は、相対的に下位に位置している。これらの能力を獲得できたと認識している学生は半数ほどにとどまっている。

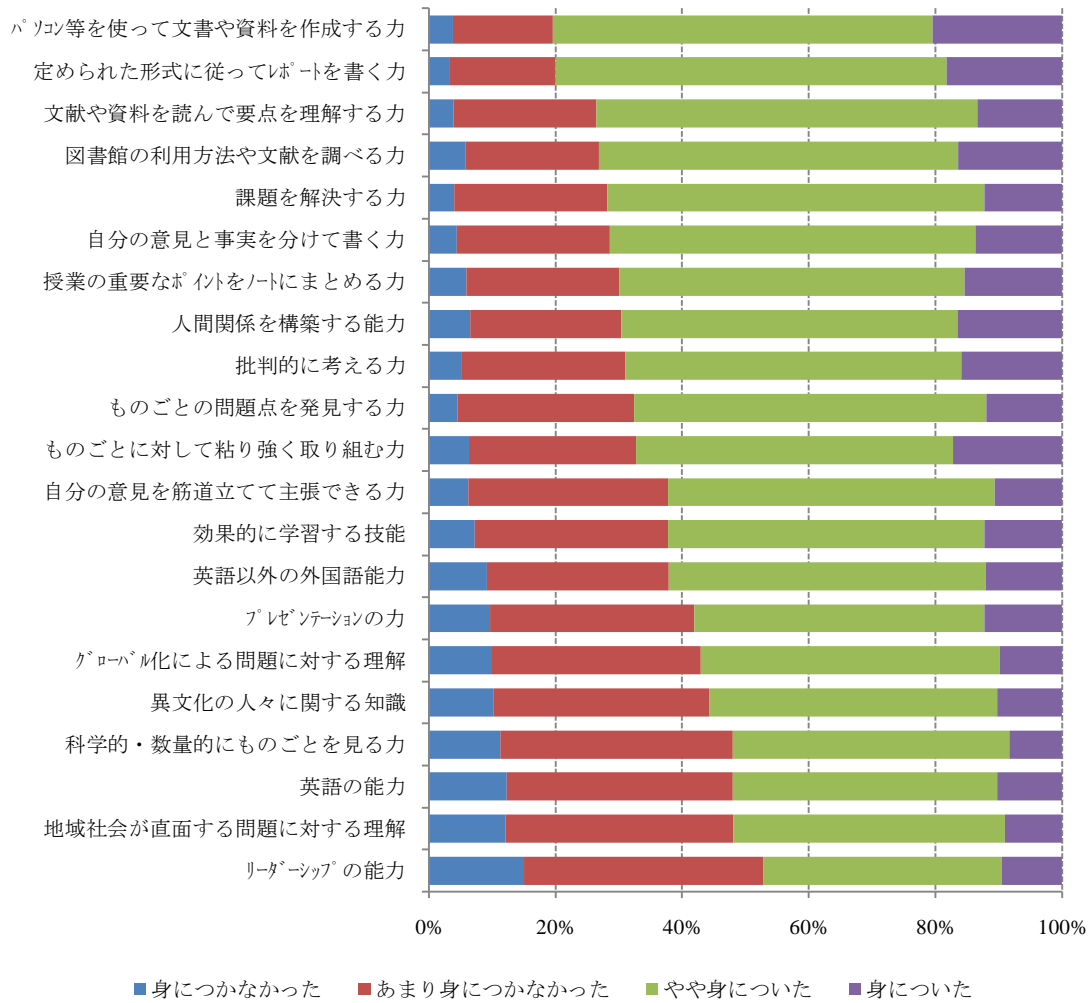


図3：知識・技能の獲得状況「1年間学んで」(Q11)

Q12：あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。

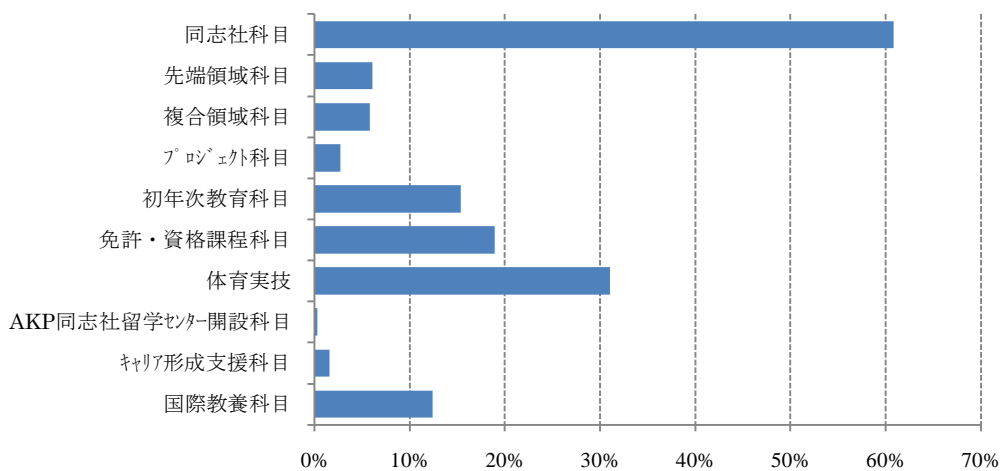


図4：履修した授業 (Q12)

Q12では、全学共通教養教育科目を中心に特徴的な授業科目の履修状況を尋ねている。回答の結果を集計した図4を見ると、「同志社科目」を履修した学生は6割（60.9%）を超えていることがわかる。この数値を昨年度（2010年度）の調査結果と比較してみたところ、8.1ポイントほど増加していることが判明した（2010年度調査における「同志社科目」の履修率=52.8%）。

一方、「体育実技」を履修した学生は31.0%であり、昨年度に比べて大きな変化は認められなかった（2010年度調査における「体育実技」の履修率=32.6%）。

また、2011年度より新たに開設された「先端領域科目」、「複合領域科目」を履修した学生は、それぞれ順に6.1%、5.8%であった。ただし、実際には、図4に示した授業科目を履修したにもかかわらず、回答しなかったケースも多いと想定される。

Q13：あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。

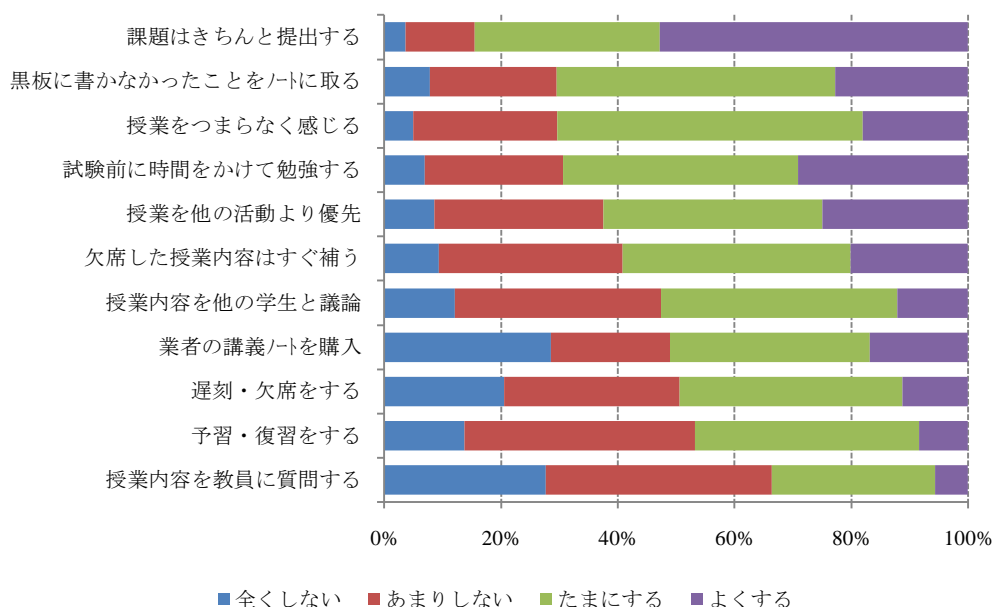


図5：授業に対する取り組み（Q13）

大学教育に課された役割は、学生に知識・技能を一方向的に伝達するだけではない。学生に対して主体的、能動的な学習を促進させることも大学教育の重要な役割である。そこで、ここでは、学生の授業への取り組み状況について確認してみよう。Q13では、授業に対する行動や態度を捉えることを目的に、11の項目を設定し、各項目に対して4段階（「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」）で質問している。

図5は、実行頻度の多い順に項目を並べたものである。図5から、「授業で出された課題はきちんと提出する」ことに対して「全くしない」と回答した学生はわずか3.7%であり、8割以上の学生は実行していることがわかる。「教員が黒板に書かなかったことでもノートに取る」ことや「試験前に時間をかけて勉強をする」ことについても、多くの学生は行っていることを確認できる。さらに、「遅刻・欠席をする」ことについて、「よくする」と回答した学生は1割ほど（11.2%）にとどまっている。一方、「予習・復習をする」ことに対

して「たまにする」もしくは「よくする」と回答した学生は合計（%）で半数弱（46.8%）である。加えて、「授業内容について教員に質問をする」ことについて、「よくする」と回答した学生は5.7%であり、3割弱（27.7%）の学生は教員に質問を「全くしない」ようだ。

これらのことから、本学の学生の多くは基本的な学習態度を習得しているものの、より積極的な学び、すなわち、主体的、能動的な学習に関してはそれほど活発ではないことが判明した。

Q14：あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。

Q14では、これまでに受講した授業の形態・方法について質問している（回答の選択肢は、「全くなかった」、「あまりなかった」、「時々あった」、「よくあった」の4段階である）。各項目に対する回答結果をまとめたのが図6である。これによると、「出欠の確認」や「定期的な課題提出」が「全くなかった」と回答した学生はわずか3%であり、程度の差はあるにせよ、日常的に実施されていることがわかる。ただし、教員から「課題提出物の添削と返却」を受けた経験のある学生はそれほど多くない。

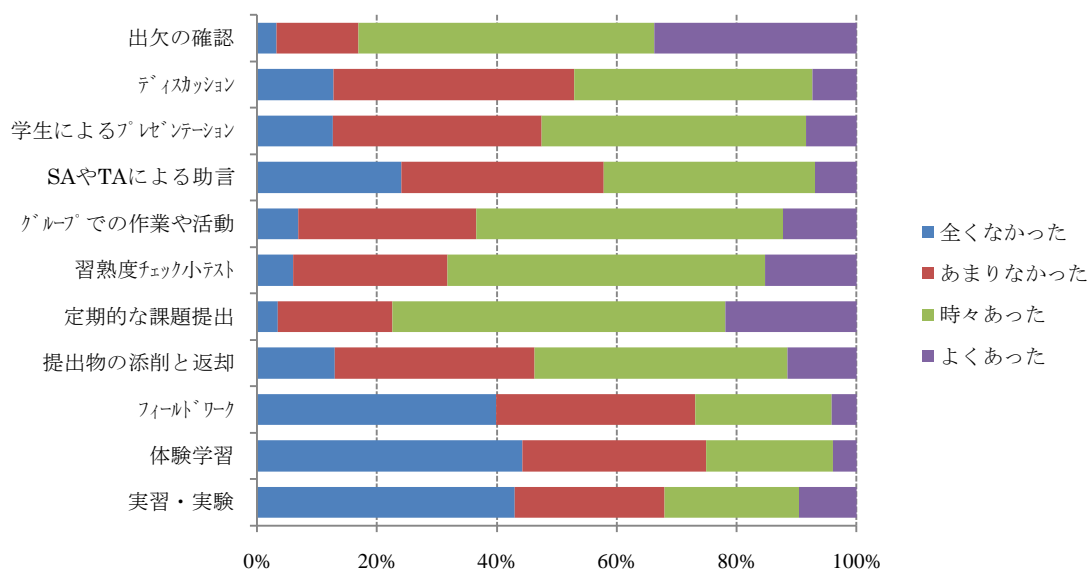


図6：授業の形態・方法（Q14）

Q15：あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。

Q15では大学入学後の留学等の経験について質問している。回答結果を集計した図7には、留学経験がある者はごく一部の学生に限定されることが示されている。「語学研修プログラムへの参加」が7.1%、「正規交換留学生として留学」が4.2%、「私費留学生として留学」が5.2%であった。

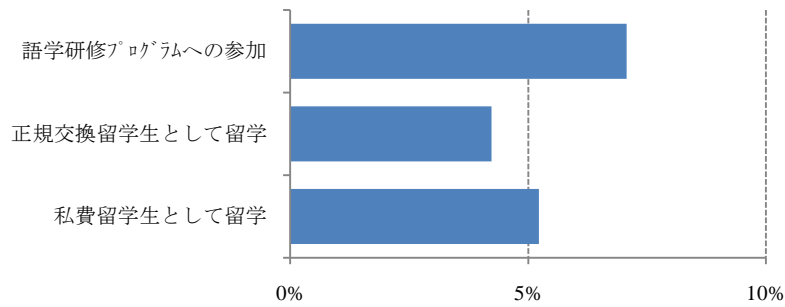


図7：留学等の経験 (Q15)

Q16：あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。

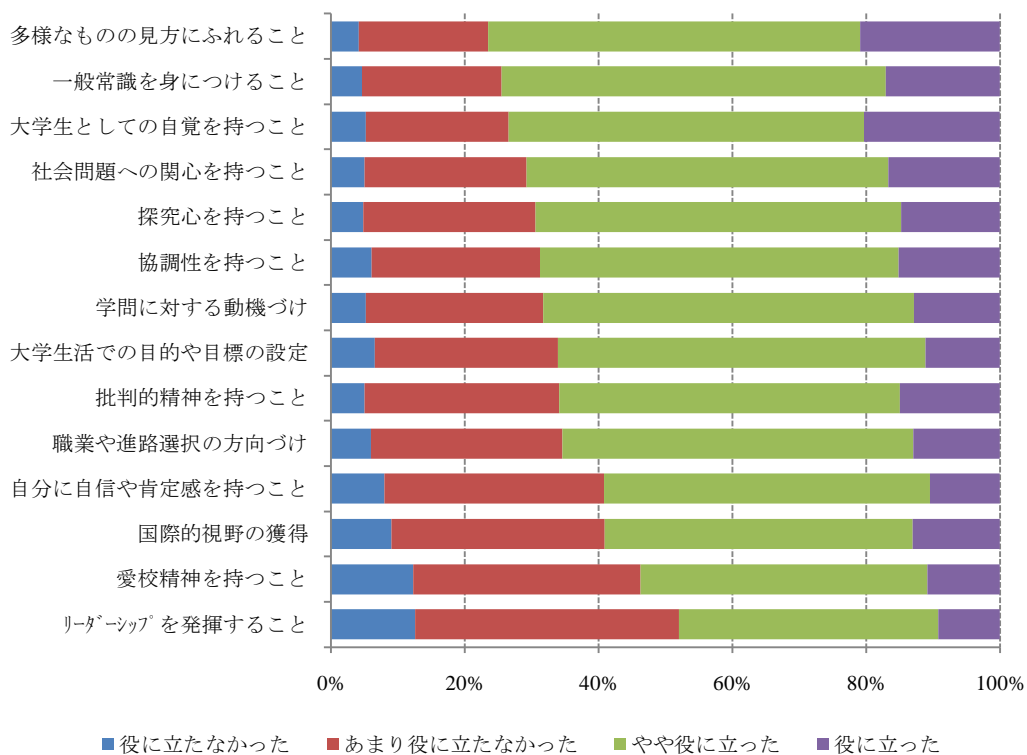


図8：授業に対する評価 (Q16)

Q16では、大学の授業内容がどの程度役立ったのかを、14項目にわたって質問し、それぞれの項目について「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」の4段階で回答を求めている。図8は、「やや役に立った」と「役に立った」の合計 (%) が多い順に項目を並べて整理したものである。

回答結果を集計した図8から、学生の授業に対する評価は項目により異なることがわかる。評価が最も高いのは、8割近い学生が役立った（「役に立った」と「やや役に立った」の合計）と回答した「多様なものの見方にふれること」であった。さらに、「一般常識を身につけること」や「大学生であるという自覚を持つこと」に対しても、7割を超える学生が、本学の授業内容が役立ったと評価しているのを確認できる。少人数グループによる演習や大規模クラスの講義など、高校までの授業スタイルと異なる大学の授業を受講するな

かで、学生の多くは大学生としての自覚を実感しているのだろう。

そうした一方で、「リーダーシップを発揮すること」に対する、学生の評価はあまり芳しくない。過半数の学生が役に立たなかった（「役に立たなかった」と「あまり役に立たなかった」の合計）と考えているようだ。これは、通常の授業では、そのような機会が得にくいということの意味しているのだろう。

Q17：あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。

Q17では、大学の設備環境や授業科目に関する満足度を問うている（回答の選択肢は、「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5段階である）。図9は、「満足」と「やや満足」の合計（%）が多い順に項目を整理したものである。図9から、「図書館の環境や設備」に関して不満（「やや不満」と「不満」の合計）を表明した学生は1割程度にとどまっていることがわかる。「やや満足」まで含めると、7割近くの学生が、本学の図書館の利用環境や設備に満足しているようだ。さらに、パソコンの利用環境や教室設備についても、6割近くの学生が満足していることがわかる。そうした一方で、「英語・外国語の授業」は他項目と比べて相対的に満足度が低く、2割以上の学生が授業内容に不満を感じていることがわかった（「不満」=9.6%、「やや不満」=16.8%）。

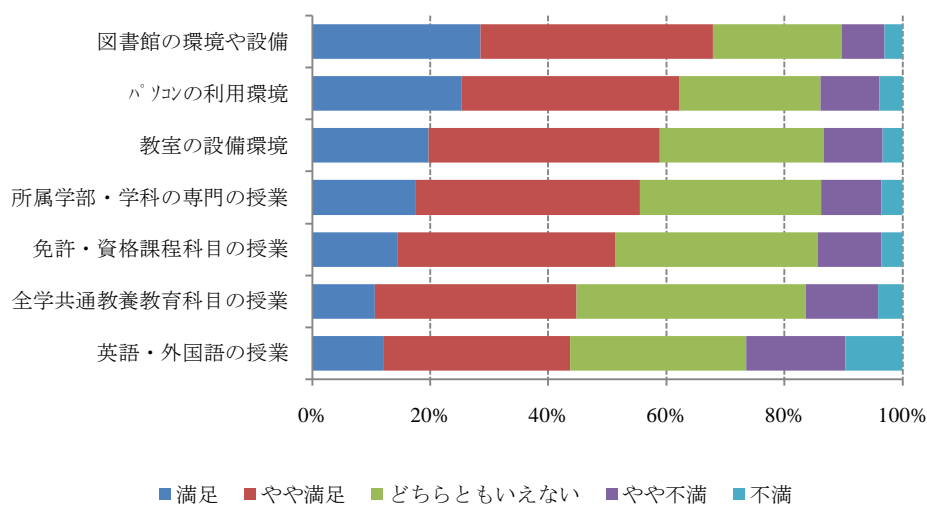


図9：領域別満足度（Q17）

*「免許・資格課程科目の授業」に関しては、Q12（授業の履修状況）と照合し、履修者のみに限定して集計している。

Q18：あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。

Q18では、大学での学びや大学教育の職業的な価値などに関して回答を求めている（回答の選択肢は、「そう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」までの4段階である）。

回答結果を集計した図10によると、学生の多くは大学教育を肯定的に捉えているようで

ある。「大学で学ぶことは楽しい」、「大学で学ぶこと自体に価値がある」という意見に対して、肯定的に考える（「ややそう思う」と「そう思う」の合計）学生の割合は7割を超えている。さらに、「大学でよい成績をとることは重要だ」という意見に対して、否定的に考える（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）学生の割合は3割にも満たない。

大学教育の職業的価値（「大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」、「大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」）についても、7割以上の学生は肯定的に考えている。一方で、「大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係ない」という意見を肯定する学生は4割ほどにとどまり、その割合は他の項目と比較して際立って少ないのが特徴的である。

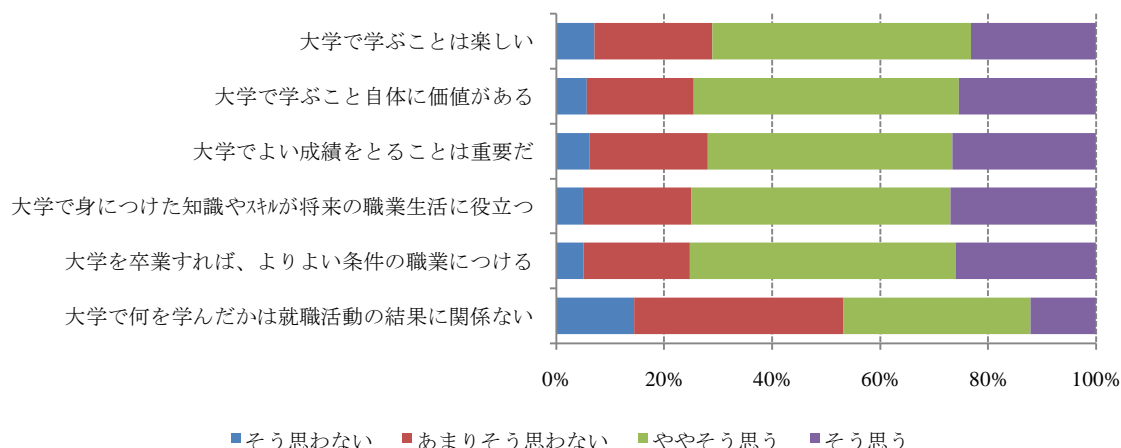


図 10：大学教育の価値（Q18）

Q19：あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。

Q19では、友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を捉えることを目的に、7項目を設定している（回答の選択肢は、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の4段階である）。図 11 は回答結果を整理したものである。

これによると、「同じ学部・学科の友人がいる」ならびに「他の大学に通う友人がいる」については、6割を超える学生が「あてはまる」と回答している。逆に、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した1割の学生は対人関係の構築に困難を抱えている可能性がある。

さらに、「大学の教員と交流がある」ことに関して、肯定的な回答（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）をした学生は3割程度にとどまっている。全学共通教養教育科目や外国語科目の履修が中心である1年次時点では、教員とコミュニケーションを図る機会がそれほど多くないのだろう。「大学は気おくれして居心地が悪い」、「大学はいつも退屈だ」に対する肯定的な回答は4割を下回っており、多くの学生は大学生活を満喫しているようだ。

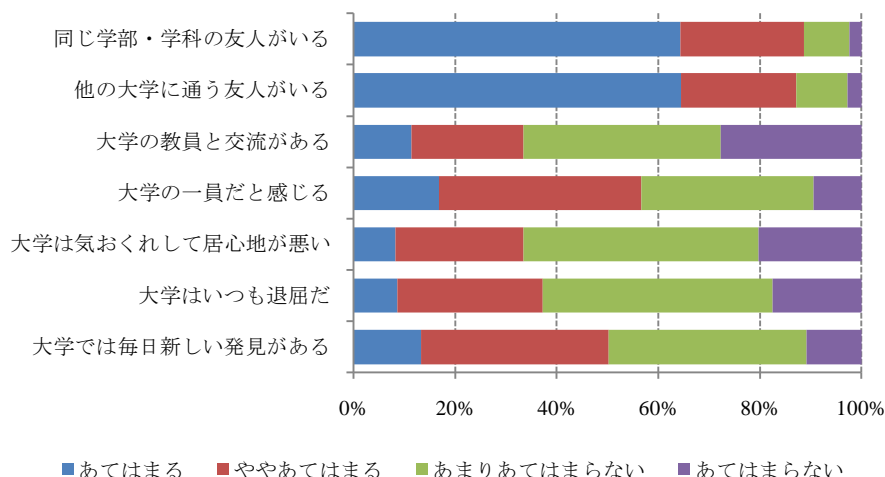


図 11：大学への適応 (Q19)

Q20：あなたは、次のような項目について、大学にもっと教えてほしいと思いますか、そうは思いませんか。

Q20 では、大学に対する学生の要望を捉えるために、6つの項目を設定し、それぞれの項目について4段階で回答を求めている（回答の選択肢は、「教えてほしくない」、「どちらかといえば教えてほしくない」、「どちらかといえば教えてほしい」、「教えてほしい」の4段階である）。

はじめに、「大学の建学の精神や理念」ならびに「大学の歴史・伝統」については回答結果が類似しており、2割弱の学生が「教えてほしくない」と回答している。そうした一方で、単位取得・履修登録の具体的な方法や大学施設・設備・制度の利用方法に関して、2～3割の学生は「教えてほしい」と回答している。さらに、「どちらかといえば教えてほしい」までを含めると、8割程度の学生が、こうした項目に対して大学からの情報発信を望んでいることがわかる（図 12）。

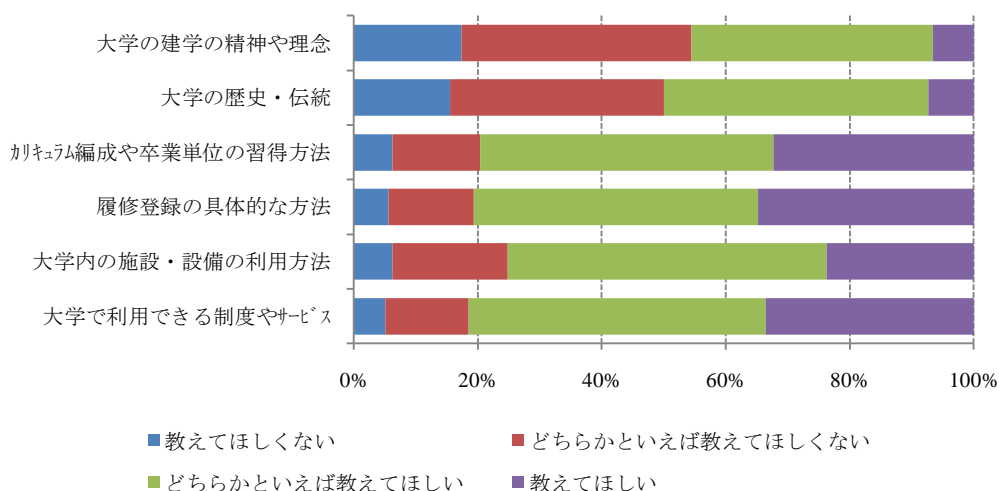


図 12：大学で教えてほしいこと (Q20)

Q21：あなたは授業期間中，通常1週間に約何時間，授業中以外に学習活動（勉強，文章作成，読書，実験，リハーサル等）を行いましたか。

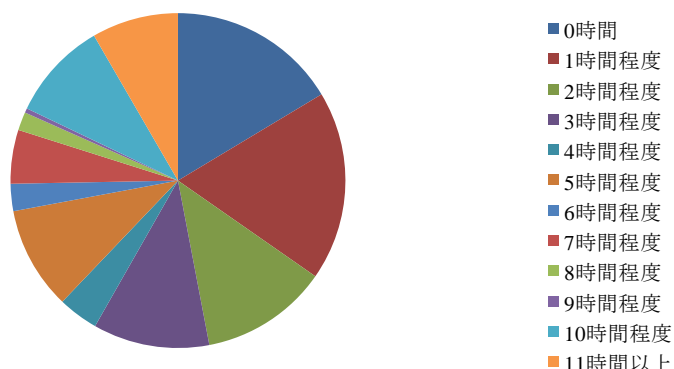


図 13：1週間あたりの授業外学習時間（Q21）

Q21 では，授業期間中の授業時間外に行った学習時間（1週間あたり）について尋ねている。はじめに，本学全体の平均学習時間は4.80時間であり，昨年度（2010年度）と比べてわずかに増加している（2010年度の授業外学習時間=4.75時間）。

図 13 は，回答を1時間ごとに区分して集計したものである。図 13 によると，本学全体では，16.4%の学生は授業時間外に全く学習をしていない（1週間あたりの学習時間が0時間）。ここに，「1時間程度」と「2時間程度」を含めると，半数ほど（47.0%）の学生の学習時間は2時間以内の範囲におさまる。そうした一方で，1週間あたりの学習時間が10時間を越える学生も2割弱いる（「10時間程度」と「11時間以上」は，それぞれ9.6%と8.4%）。

Q22：あなたは授業期間中に，通常1週間に約何時間，仕事またはアルバイトを行いましたか。

授業期間中に行ったアルバイトについても授業外学習時間と同様の形式で，1週間あたりの勤務時間を質問している。本学全体の平均アルバイト時間は9.6時間であり，昨年度（2010年度）と比較して0.5時間（30分）長くなっている（2010年度のアルバイト従事時間=9.1時間）。図 14 ではアルバイト時間を5時間ごとに区分して集計している。これによると，本学全体では3割を超える学生がアルバイトをしていない。アルバイトを行っている学生の中で最も多いのは，「6-10時間程度」の19.5%であり，これに，「11-15時間程度」の15.9%，「16-20時間程度」の13.9%が続いている。

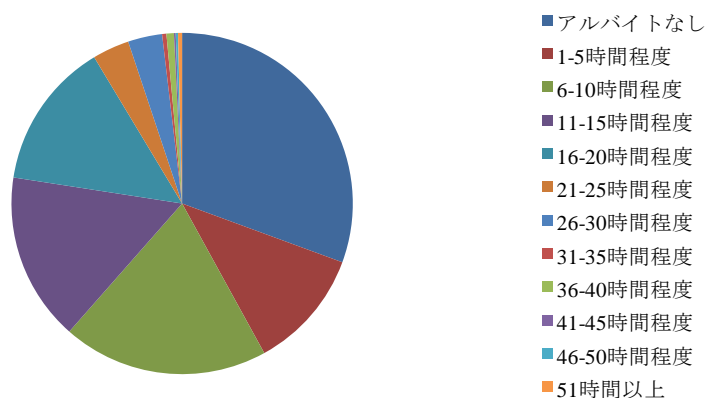


図 14：1週間あたりのアルバイト従事時間（Q22）

Q23：あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書（漫画、趣味・娯楽雑誌を除く）をしましたか。

図15は、最近3ヶ月間の読書量（授業とは関係のないもので漫画・趣味・娯楽雑誌は除く）を集計した結果である。

最も多い回答は「0冊」の23.1%で、「1冊」から「3冊」については、それぞれ13%から18%程度であった。一方、「5冊以上」と回答した学生も全体の1/5ほど（21.9%）存在し、ばらつきが大きくなっている。

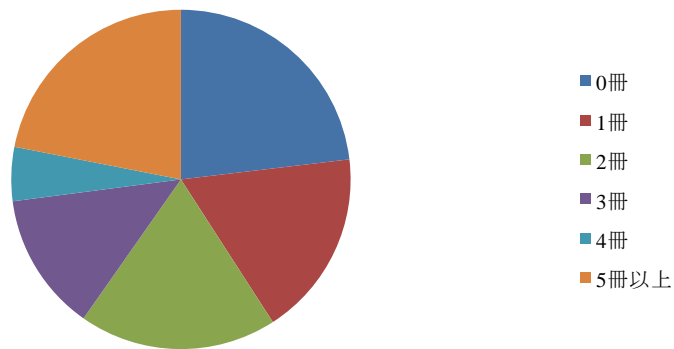


図15：読んだ本の冊数（Q23）

Q24：あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

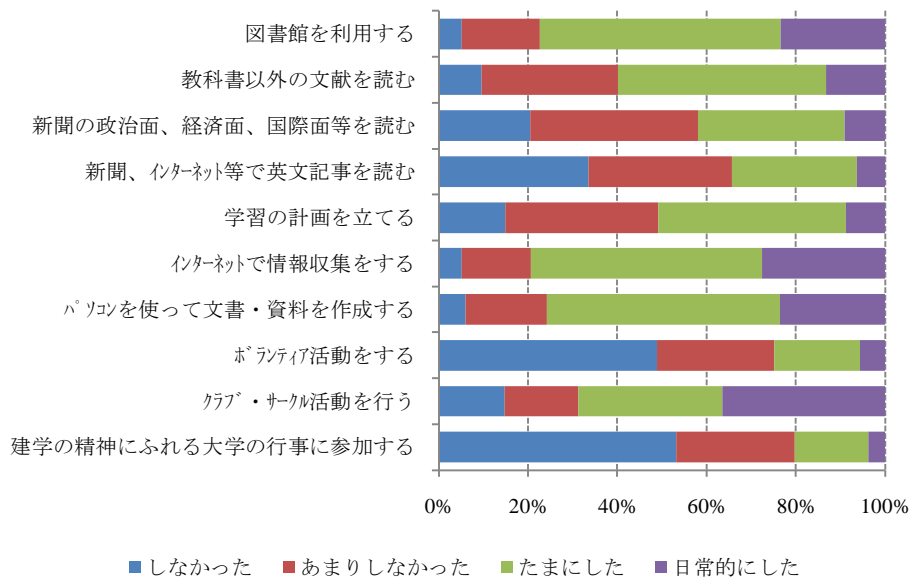


図16：学習行動・生活習慣（Q24）

Q24では、大学入学後の学習・生活習慣を捉えるために、10の項目を設定し、それぞれについて、「日常的にした」から「しなかった」までの4段階で回答を求めている。回答の結果をまとめた図16によると、図書館の利用経験がない学生はごくわずか（5.2%）であり、2割強の学生は日常的に図書館を利用しているようだ。さらに、頻度に違いはあるも

の、多くの学生は「教科書以外の文献」や「新聞の政治面、経済面、国際面」を読んでいることがわかる（「しなかった」と回答した学生の割合は、順に 9.6%, 20.5%）。こうした項目に比べると、「新聞、インターネット等で英文記事」を読む学生は限られている。

また、クラブ・サークル活動を「日常的にした」学生は 36.5%、「たまにした」学生も 32.3%おり、両者を合わせると、7 割近い学生が何らかの団体に参加している。他方、ボランティア活動や建学の精神にふれる大学行事に参加した学生は半数ほどにとどまっている（「しなかった」と回答した学生の割合は、順に 48.9%, 53.2%）。

Q25：あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。

図 17 は、本学の教育全般に対する満足度を示したものである（回答の選択肢は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の 5 段階である）。図 17 から、「どちらかといえば満足している」と回答した学生が 42.4% で最も多いが、判断を留保する（「どちらともいえない」）学生も 3 割ほど（29.4%）存在することがわかる。一方、不満を表明する学生は 1 割程度にとどまっている（「不満である」=3.5%、「どちらかといえば不満である」=7.4%）。

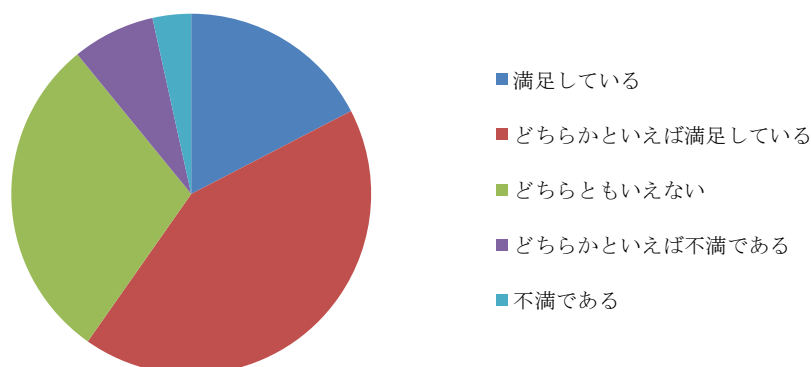


図 17：教育満足度（Q25）

Q26：あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。

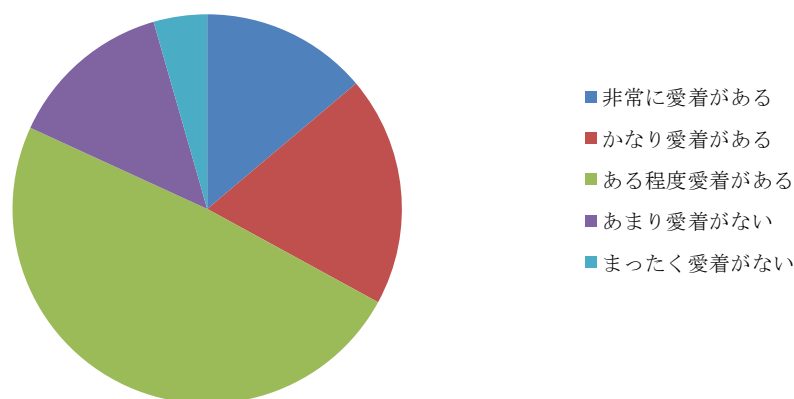


図 18：大学に対する愛着（Q26）

Q26では、本学に対する愛着の度合いを「非常に愛着がある」から「まったく愛着がない」までの5段階の選択肢で尋ねている。「非常に愛着がある」と回答した学生は13.9%、「かなり愛着がある」と回答した学生は19.1%、「ある程度愛着がある」と回答した学生は48.9%であり、これらを合計すると全体の4/5以上を占めている（図18）。

Q27：あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。

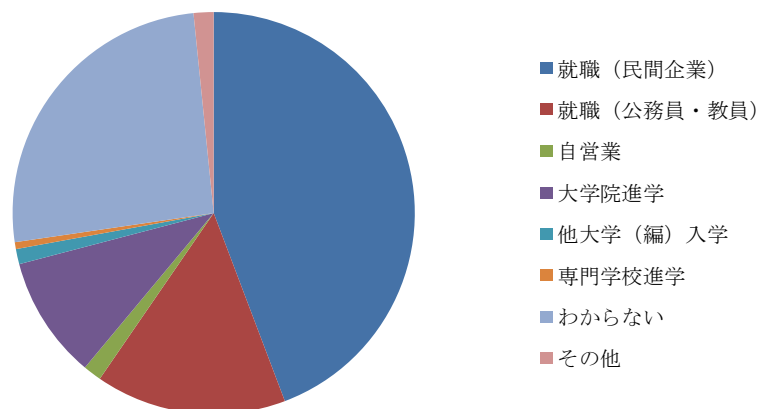


図19：希望する進路（Q27）

Q27では、学部卒業後の希望進路について回答を求めている。回答をまとめた図19によると、最も多くの学生が希望する進路は「民間企業に就職する」の44.2%である。これに、「公務員や教員として就職する」の15.3%、「大学院に進学する」の9.9%が続いている。そうした一方、現状では、「まだわからない」と回答した学生も2割強（25.7%）存在する。大学に入学してから1年ほどしか経っていない時点で、卒業後の進路を具体的にイメージすることはまだ難しいのだろう。

Q28：あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですか。

最後に、学生が就職先を選択する際に、どのような点を重視しているのかを確認してみよう。Q28では、5つの項目を設定し、各項目について「重要でない」、「あまり重要でない」、「やや重要である」、「重要である」の4段階の選択肢で回答を求めている。図20は、回答結果を集計したものである。これによると、重視する割合が最も高い項目は「自分の興味や関心に合っていること」であり、「重要である」と回答した学生は半数（56.2%）を超えている。一方、重視する割合が最も低いのは「大学で学んだことが生かせること」であった。

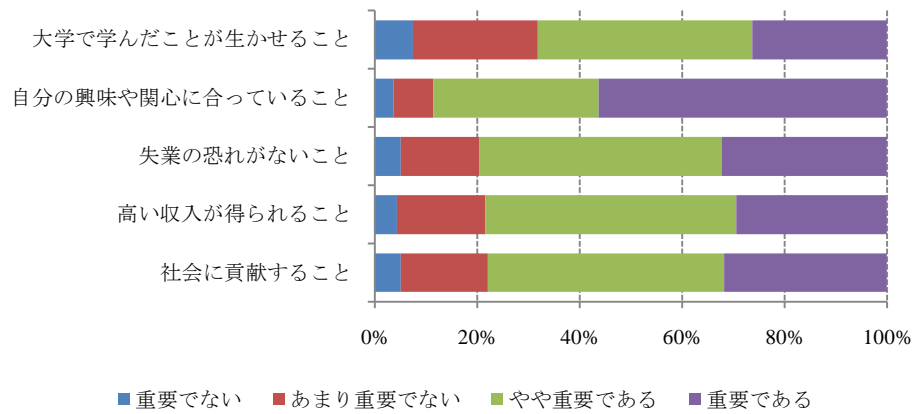


図 20 : 就職の際に重視すること (Q28)